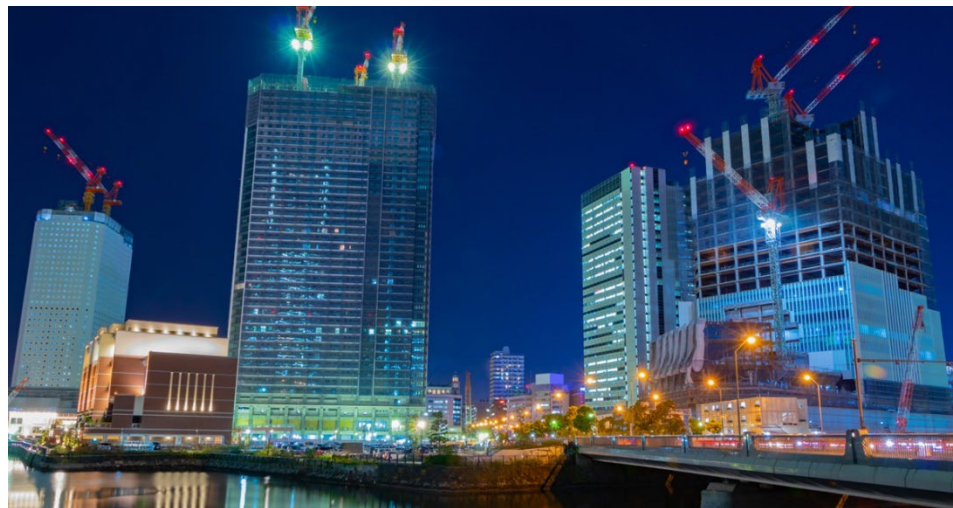
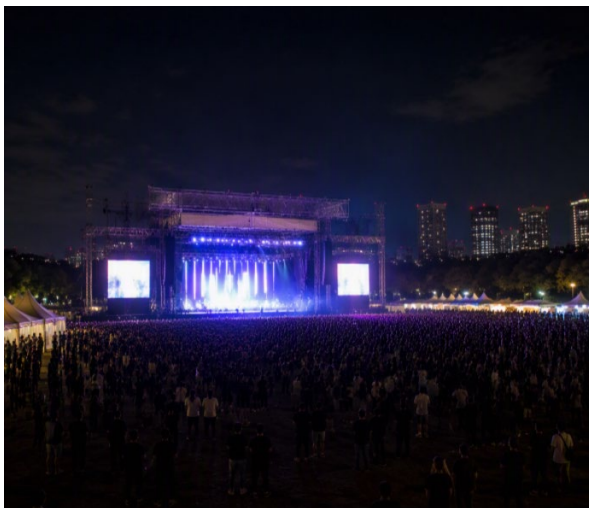
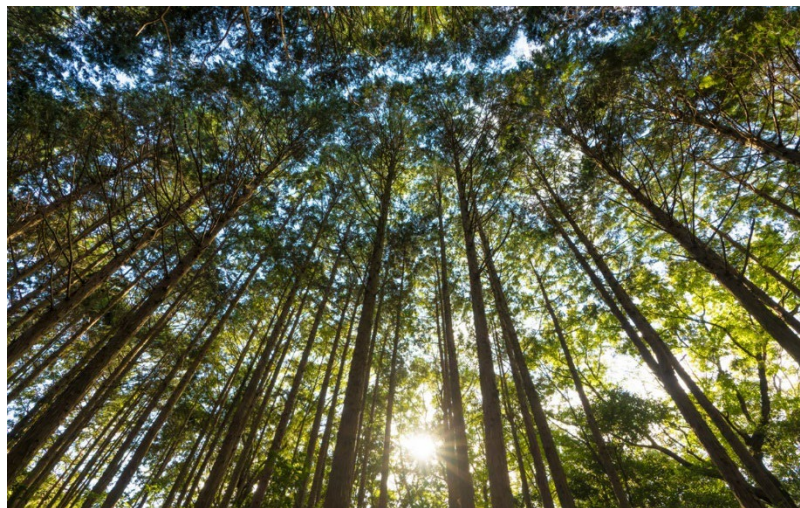


個人投資家向け会社説明



株式会社やまびこ（東証プライム：6250）

2026年9月4日

1. やまびことは？
2. 事業説明
3. 中期経営計画
4. 業績・株主還元
5. 本日のまとめ

1. やまびことは？

設	立	2008年12月1日				
本	社	東京都青梅市末広町1-7-2				
売	上	高	174,020百万円（2025年12月期連結）			
連	結	子	会	社	数	14社※（国内6社・海外8社／2025年12月末現在）
						※持分法適用関連会社1社を除く
従	業	員	数	2,945名（2025年12月末現在／連結）		
上	場	市	場	東京証券取引所プライム		
証	券	コ	ー	ド	6250	



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ **ECHO**

子会社

ECHO エコー・インコーポレイテッド
設立 1972年（昭和47年）

（株）共立が1972年に前身となるアメリカ共立を設立
50年以上にわたり米国市場で事業を展開



E 株式会社 共立

設立 1947年（昭和22年）

YAMABIKO

株式会社やまびこ

設立 2008年（平成20年）

新タイワ工業株式会社

設立 1952年（昭和27年）



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

shindaiwa



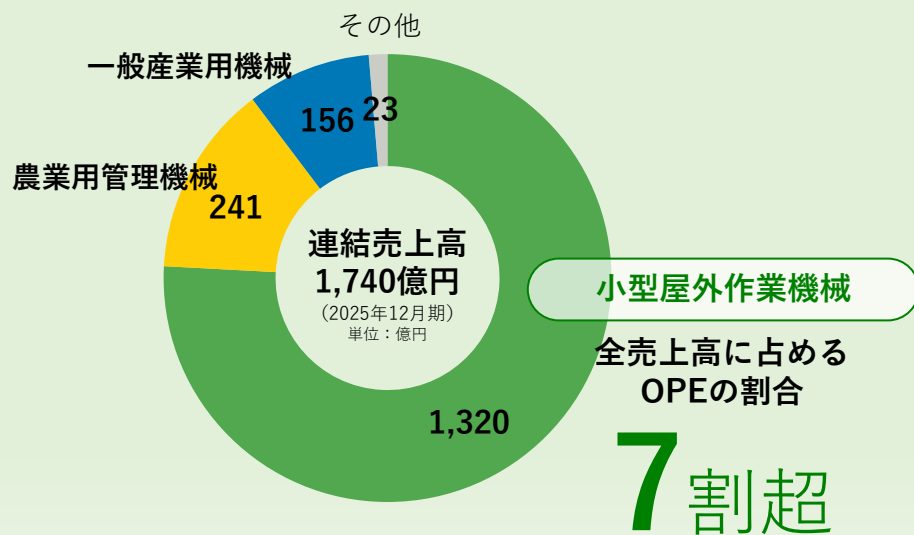
2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ

shindaiwa

ECHO

グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー



● 小型屋外作業機械 (Outdoor Power Equipment)

刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ロボット芝刈機など



● 農業用管理機械

防除機、ラジコン草刈機など



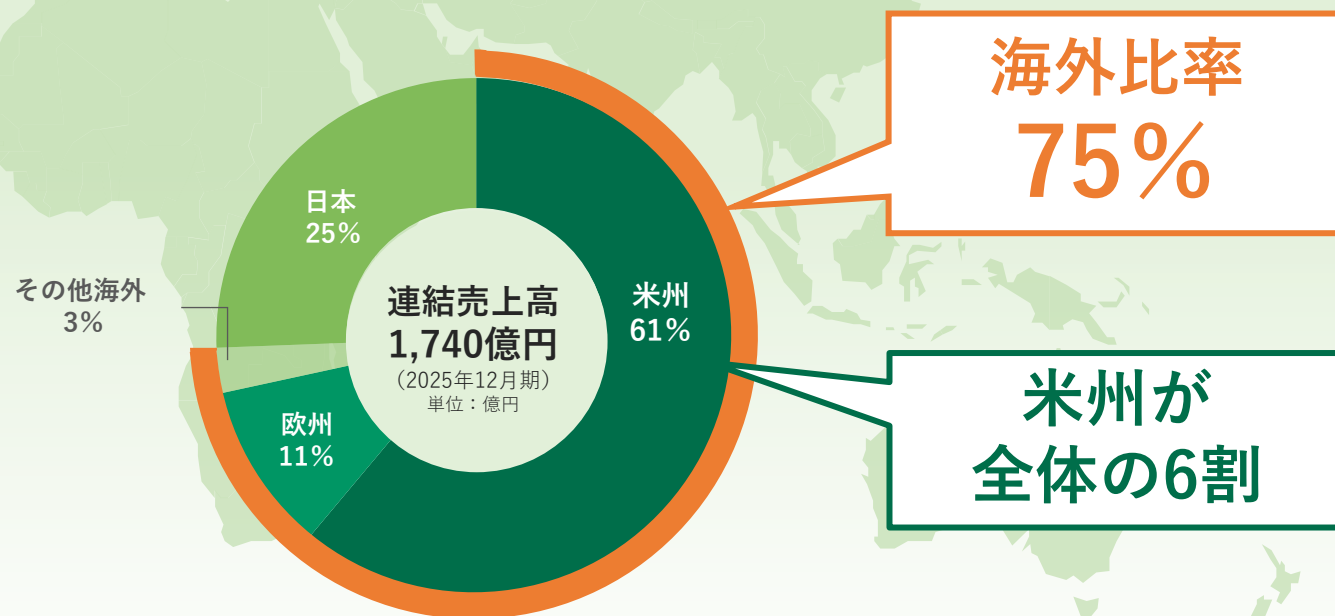
● 一般産業用機械

発電機、溶接機など



海外売上高比率 7割超

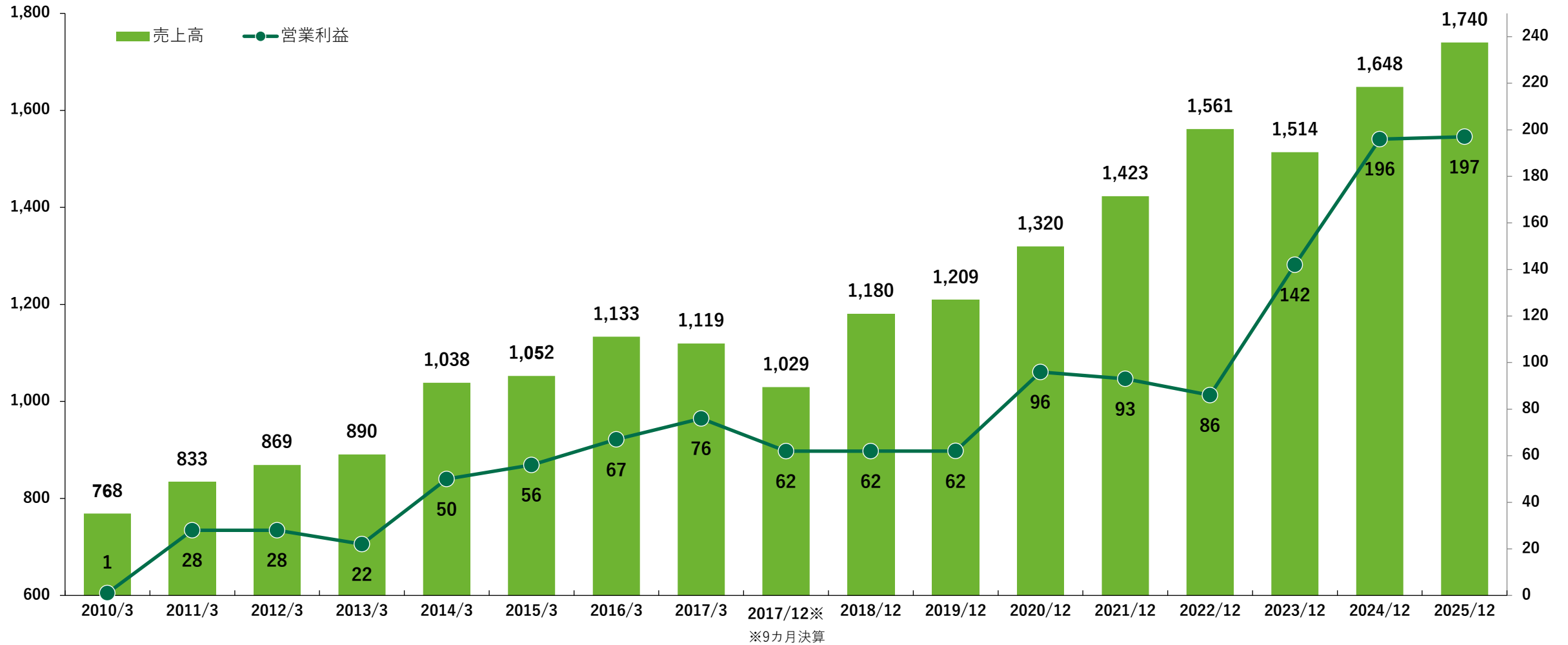
主力のOPEは海外での需要が高く、海外の売上高比率は7割を超えています。
特に米州の売上比率は、全体の6割を占めています。



売上高・営業利益ともに順調に成長

(売上高：億円)

(営業利益：億円)



2. 事業概要

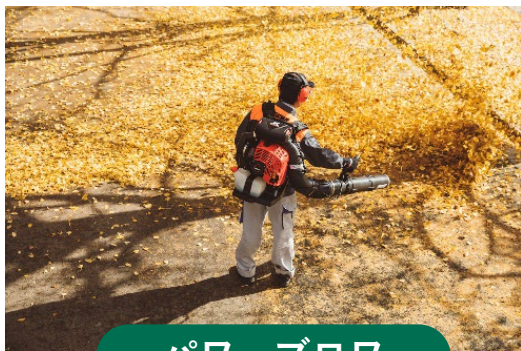
OPEの動力源にはエンジンやモーターを搭載
高出力・高耐久、操作性に優れる当社製品は作業
効率の高さからプロユーザーに支持されている



刈払機



チェンソー



パワーブロワ



ロボット芝刈機

※OPE（Outdoor Power Equipment）

海外の主なユーザー



緑地管理業者

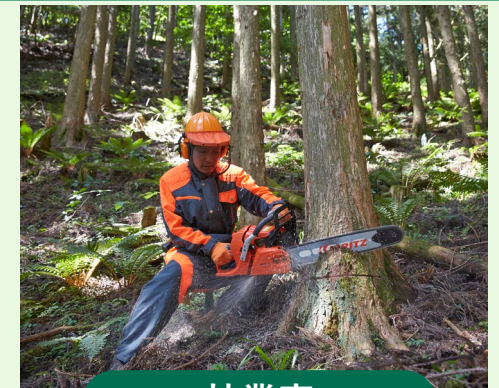


ホームオーナー

国内の主なユーザー



農家



林業家

海外OPE事業の成長を支える2つの要因

米国における強固な事業基盤



- ✓ 米国は緑地管理が文化として根付く世界最大のOPE市場
- ✓ 当社は1972年から50年以上にわたり事業を展開
- ✓ 全米最大のホームセンターをはじめ幅広い流通網を構築

プロユーザーの要求を満たす製品開発



- ✓ プロユーザーのニーズを満たす高品質・高耐久な製品
- ✓ 高い環境対応技術でエンジンの厳しい排ガス規制をクリア
- ✓ 動力源を問わず作業効率の高い製品を開発

建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる機械の
製造販売

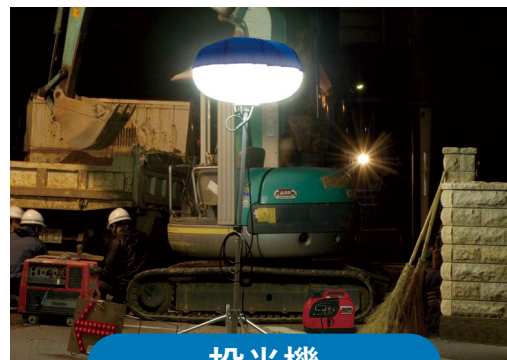


マルチハイブリッドシステム

太陽光発電・蓄電池・発電機
3つの電力源を組み合わせた
環境配慮型発電システム



発電機



投光機

技術的な強み



国内は、田畑・果樹・畜産などで用いられる防除機械や、省人・省力化に寄与する作業機を製造販売
北米においては、農作物収穫機械を製造販売



乗用管理機



ラジコン草刈機



スピードスプレーヤ



ポテト収穫機(北米)

技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、
スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 様々な栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減するやまびこノズルの自社開発

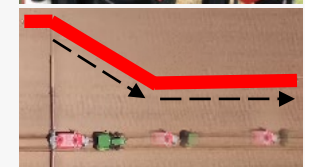


やまびこノズルの噴霧状態
(扇形状)



ICT

- ISOBUSを用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システムにより農薬をムダなく散布
- 圃場形状に合わせて散布エリアを自動制御



生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造
（機械加工・塗装・組立等）
農業用管理機械の製造（板金・塗装・組立等）
※ 大型防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



生産本部 広島事業所

発電機・溶接機・電動工
具の製造（組立等）
※ 発電機等の搭載エンジンは
他メーカーからの調達



生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造
（ casting・金属処理・機械加工・組立等）

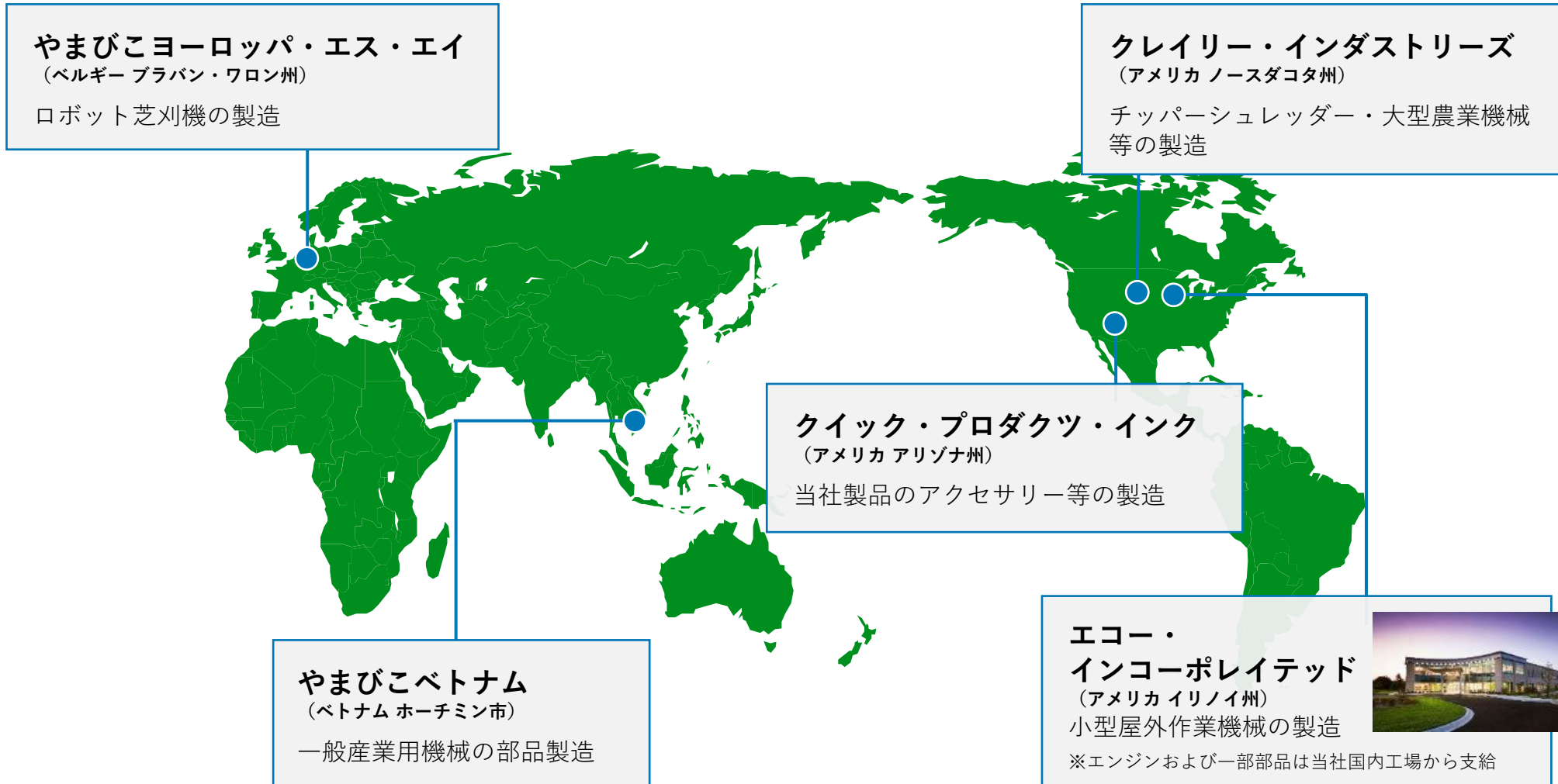


生産関連子会社

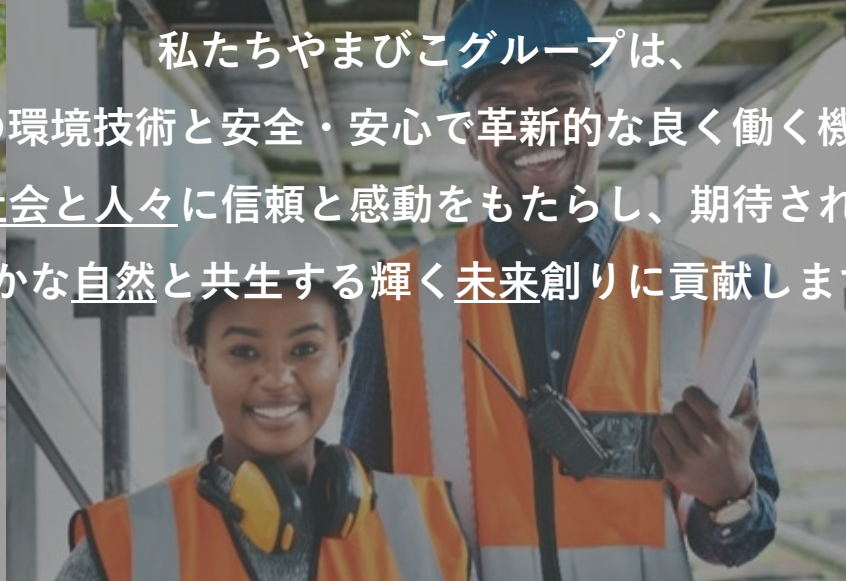
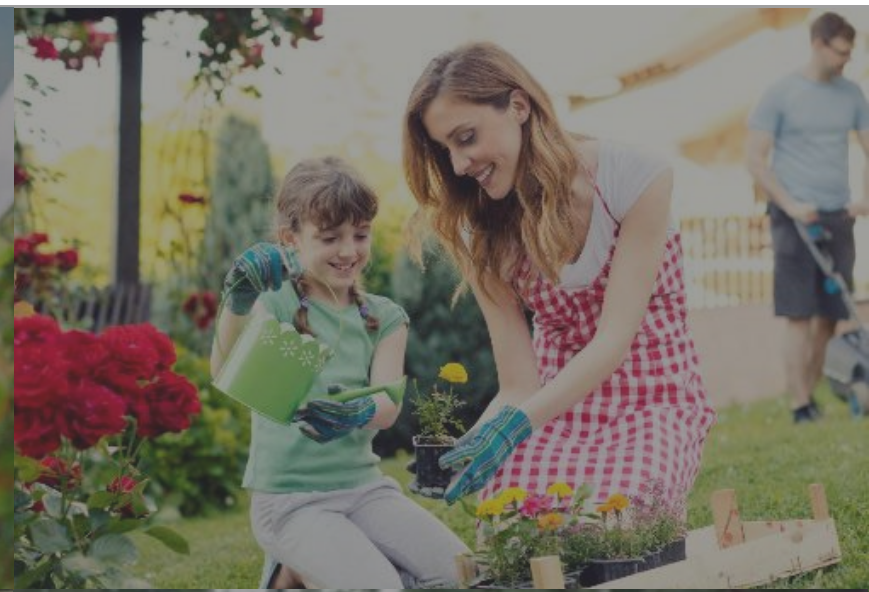
- ・ 追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品
- ・ 双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品
- ・ 株式会社ニューテック（長野市）：試作部品
- ・ やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工

- 生産事業所
- 生産子会社





3. 中期経営計画



私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

環境負荷低減や安全性向上、労働力不足といった課題の解決に継続して取り組み、
「屋外作業現場に新たな価値を創出し続ける企業」へと進化する

目指す姿

世界中のプロフェッショナルな
屋外作業に付加価値を創造する

- Value Creator for
Professional Outdoor
Solutions across the World -

2030年に
連結売上高2,500億円

中期経営計画2028

前中計で積み上げた変革の芽を
着実な成長へ繋げる

2028年	計画
売上高	2,100億円
営業利益率	13.0%
ROE	14.0%

中期経営計画2025

既存事業の着実な成長と
新規事業の創造

2025年 実績

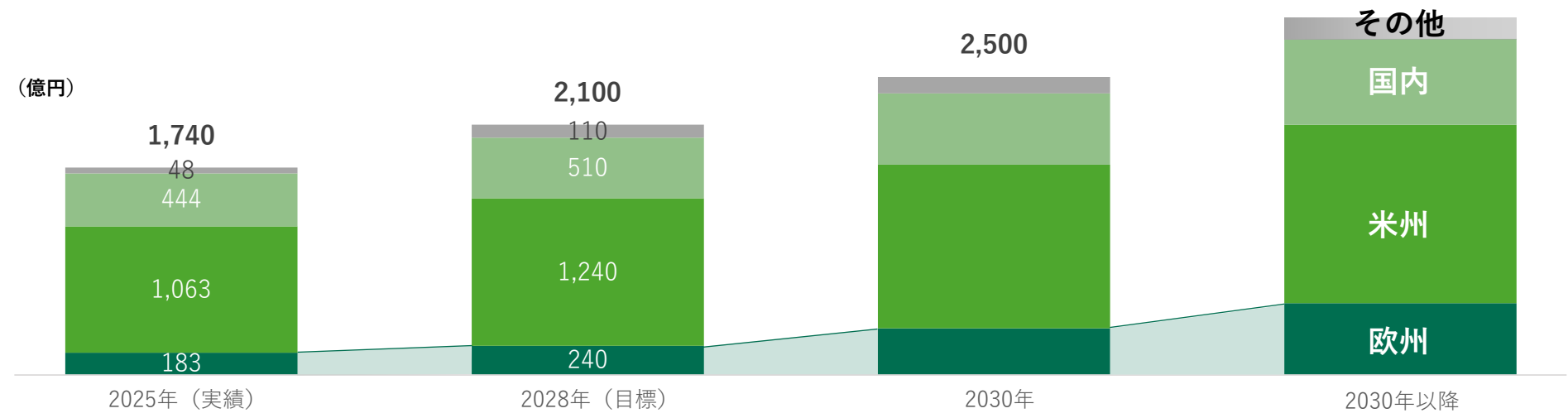
売上高	1,740億円
営業利益率	11.3%
ROE	12.7%

変革期
2023～2025年度

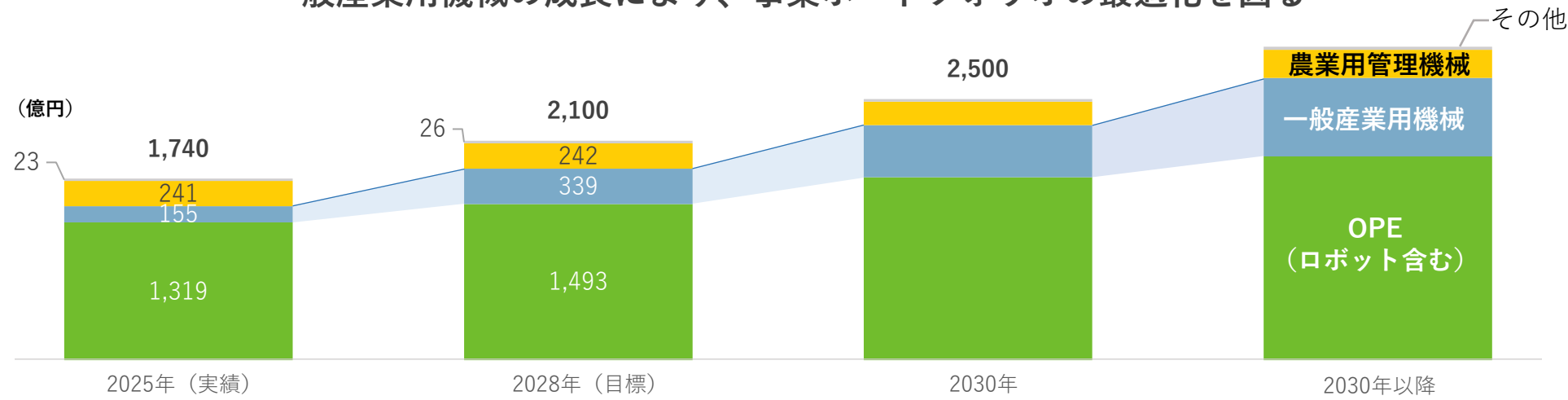
成長加速
2026～2028年度

次期中期経営計画～

欧州事業を成長のドライバーとして、米州・欧州・国内の三極体制を構築



一般産業用機械の成長により、事業ポートフォリオの最適化を図る



既存事業の深化による安定収益の確保と、
創出資源の成長領域への投資により、持続的成長を実現する



① 売上の拡大

既存事業領域の深化

- ・世界的に堅調なOPE需要の取り込み
- ・北米産機の現地組立開始、ラインナップ拡充

成長地域・新規事業への注力

- ・欧州ビジネスの拡大
- ・米欧ロボット事業とEMS※の取り組み



② 収益性の改善

欧州事業の深耕

国内事業における構造改革

サプライチェーンの見直し

- ・地産地消の推進
- ・VA/VE



③ 経営基盤の強化

新人事制度定着による組織文化醸成

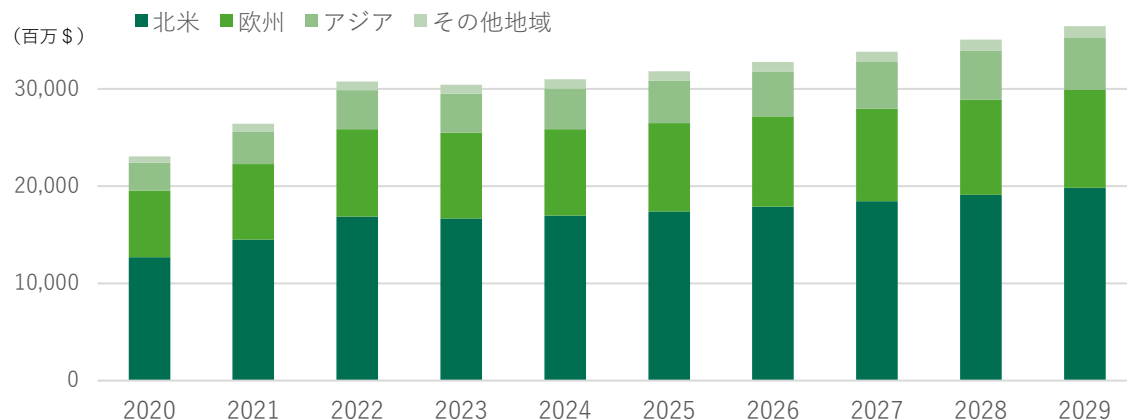
人材育成と専門性の高い キャリア採用の充実

持続的成長を支えるガバナンス体制

※エネルギーマネジメントシステム

地域別OPE市場規模※1

OPE市場の拡大は継続
最大市場の北米に加え、欧州・アジアが成長を牽引



➤ハンドヘルド製品に拘らず、広くOPE市場の需要を取り込む



(出典)

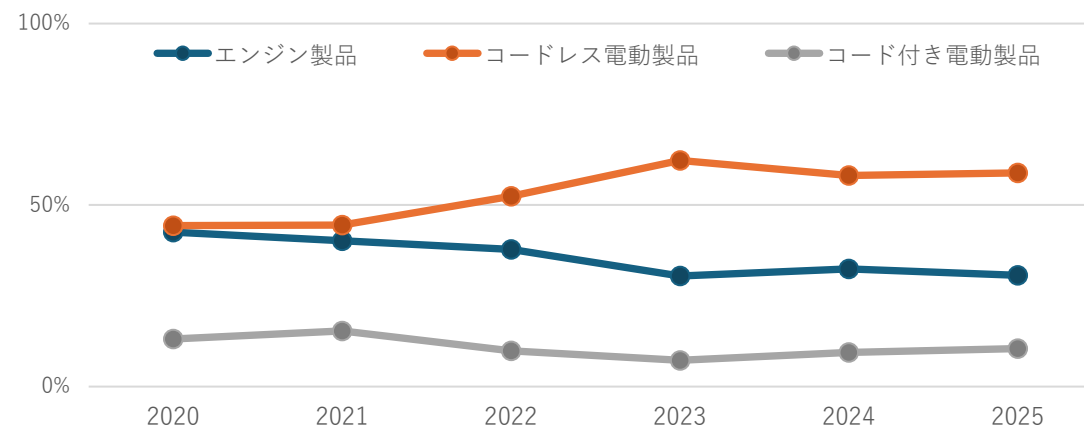
※1 Markets & Markets レポート「Outdoor Power Equipment Market」より当社作成 (対象：全地域)

※2 OPEIデータより当社作成 (対象：北米地域)

※3 Markets & Markets レポート「Outdoor Power Equipment Market」より当社作成 (対象：全地域)

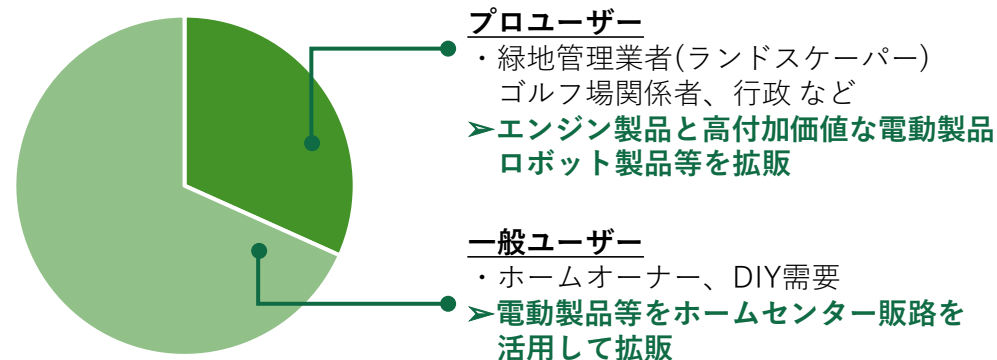
北米市場 動力源別 構成比※2

電動化の進展は一服感
エンジン製品の底堅い需要が継続



ユーザー別 市場構成比※3

プロユーザーは市場の約3割
当社はそこで高い支持を獲得



世界最大のOPE市場かつ当社の最重要市場で、OPE・産機製品を拡販

北米市場

- 世界最大のOPE市場であり、当社の最重要市場
- 高いブランド認知と安定した販売基盤を確立
- OPE・ロボット・産機の拡販により安定収益を確保

OPE事業

ハンドヘルド製品

当社の強みである高性能・高耐久なハンドヘルドOPEを
代理店・ホームセンターへ拡販



ロボット芝刈機

Toro社との業務提携拡大

産機事業

生産能力強化

現地生産による地産地消の推進

製品ラインナップ拡充

新製品投入（投光機、大型発電機、EMS）
によりポートフォリオ多様化



欧州市場

- 市場規模は大きい一方、当社OPEシェアは低位
- ロボット製品の拡販と営業体制の強化
- Toro社との業務提携拡大

OPE事業

ロボット事業の収益拡大

販売拡大を見据えた生産体制の増強投資を計画
Toro社との業務提携拡大



営業体制の強化

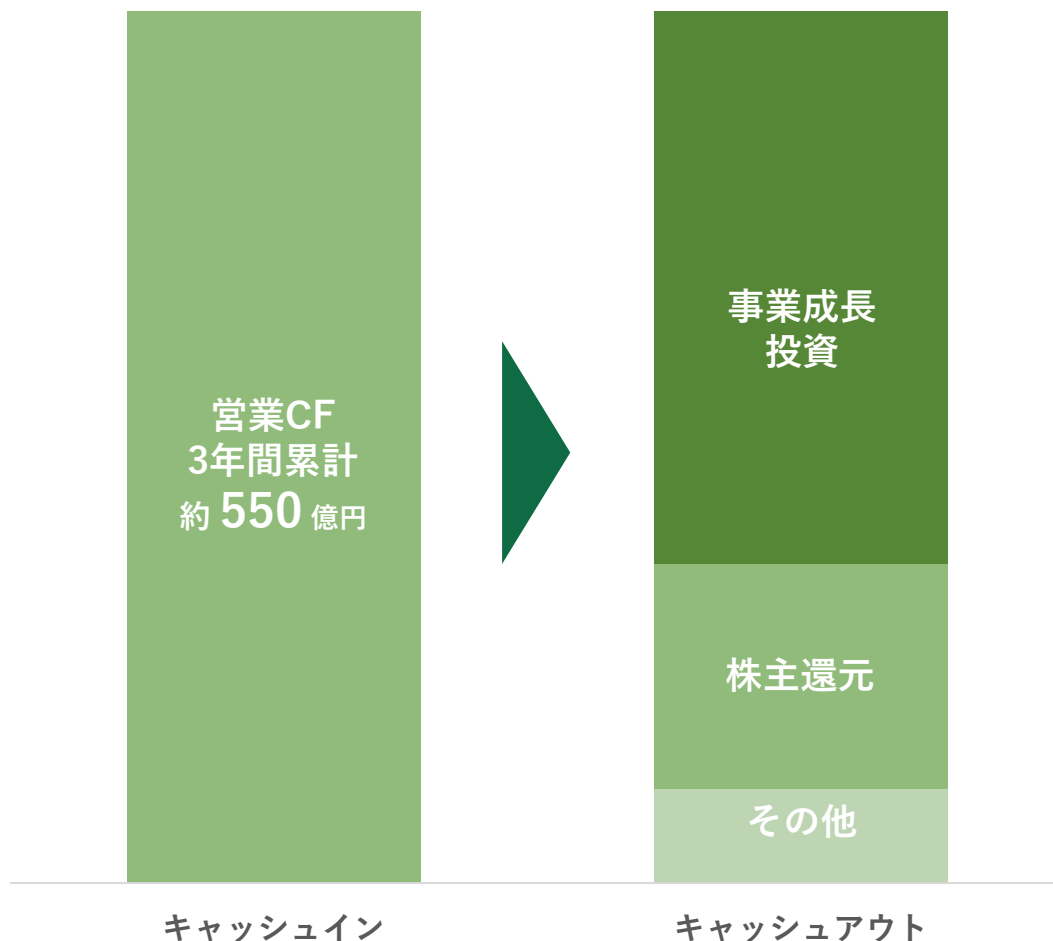
フランス代理店の子会社化



産機事業

やまびこヨーロッパによる産機製品の販売に着手

中期経営計画2028 期間中に創出するキャッシュを成長投資と株主還元適切に配分



■戦略的成長投資

- ・ M&A・出資：
 - ・ 海外事業の規模拡大に伴う投資
 - ・ 新規事業に関連した出資 など
- ・ 設備増強・新設：海外拠点の生産能力増強など

■基盤投資

- ・ システム更新：国内営業拠点最適化に伴うシステム更新など
- ・ 構造改革費用：国内事業の収益性強化施策
- ・ 更新投資：継続的な設備の維持投資

■株主還元

- 安定配当を継続し、配当性向30%を目安に配当を実施

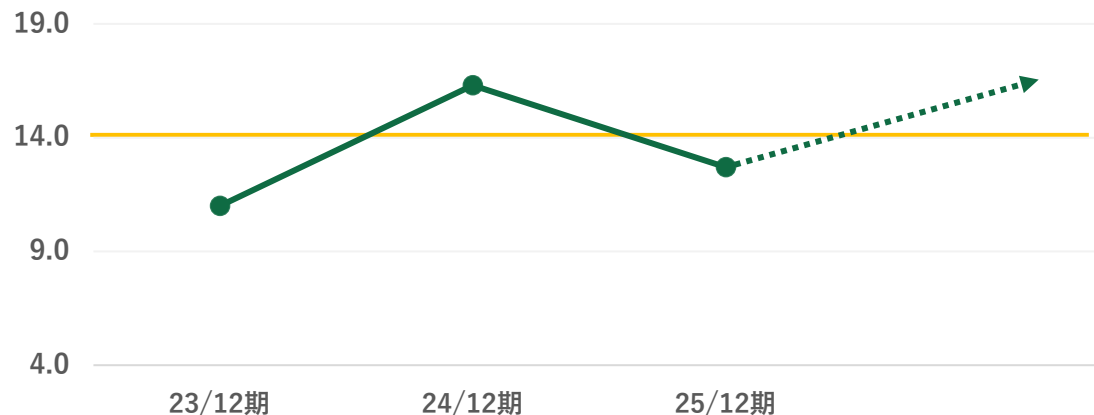
■その他

- 財務の安定性確保

継続的なROEの改善を経営の重要課題とし、資本政策に基づく成長投資と株主還元を両立
資本市場からの信頼を高め、さらなる企業価値向上を目指す

ROEの推移

「株主資本コスト」を継続的にモニタリング
それを上回るROE目標を設定、さらなる改善に取り組む



PBRの推移

ROEが資本コストを上回り市場評価が改善



4. 業績・株主還元

- 3Q以降の想定レートを1USドル：155円（前回150円）、1ユーロ：180円（前回175円）に見直し、通期予想を前回公表時から上方修正。
- 売上高1,900億円、営業利益230億円、経常利益230億円、当期純利益165億円の見通し。
- 売上高は、想定為替レートの見直しに加え、北米におけるOPEおよび一般産業用機械の販売が好調に推移していることを織り込む。
利益面は、米国関税の還付等による原価率の改善により増益を見込む。

(百万円)		25/12期 実績	構成比 (%)	26/12期 予想	構成比 (%)	前年比 (%)	26/12期 前回予想 (5/14公表)
売上高		174,020	100.0	190,000	100.0	+9.2	185,000
	売上原価	115,694	66.5	124,500	65.5	+7.6	122,500
	販管費	38,603	22.2	42,500	22.4	+10.1	41,500
営業利益		19,722	11.3	23,000	12.1	+16.6	21,000
経常利益		19,537	11.2	23,000	12.1	+17.7	20,000
親会社株主に帰属する当期純利益		14,444	8.3	16,500	8.7	+14.2	15,000

為替レート

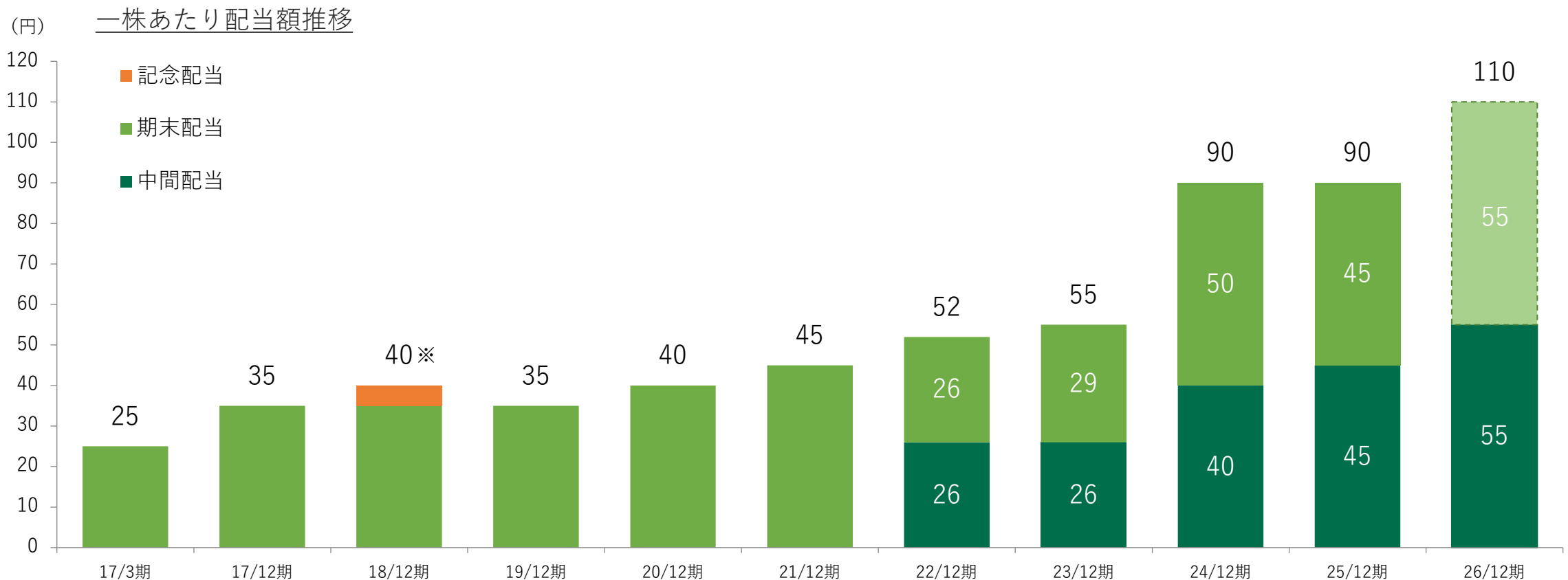
通貨	25/12期	26/12期 予想
1ドル	150 円	155 円
1ユーロ	169 円	180 円

2026年3Q-4Qの為替影響
(1円変動/円安:+, 円高:-)

通貨	売上高	経常利益
1ドル	±3.8 億円	±0.4 億円
1ユーロ	±0.6 億円	±0.7 億円

配当性向30%を目安に、過去の配当実績に基づく安定的な配当を継続

- 成長投資の進捗状況や財務状況等を勘案するとともに、株式市場の動向も注視し、自己株式の取得を含めた総合的な還元策を検討
- 26/12期の期末配当は55円を予定。すでに実施している中間配当55円とあわせて、年間110円（前期比20円の増配）の予定

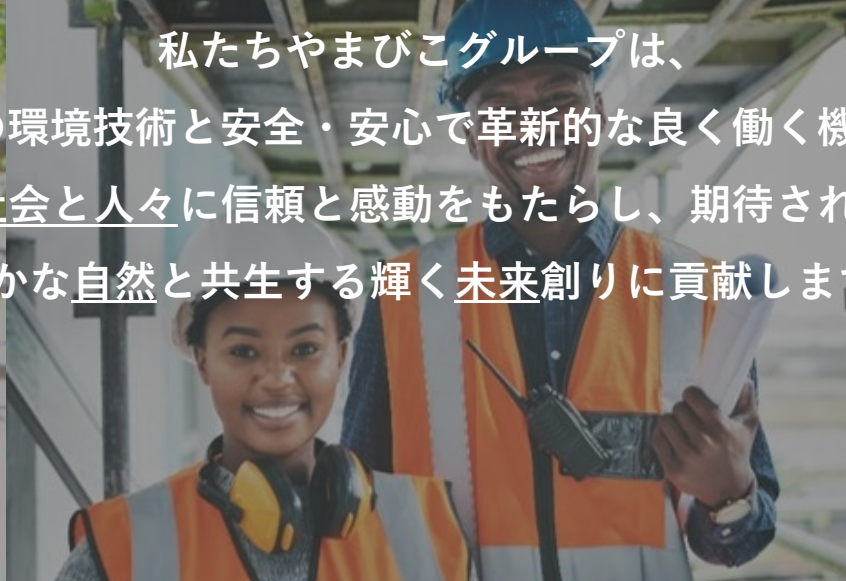
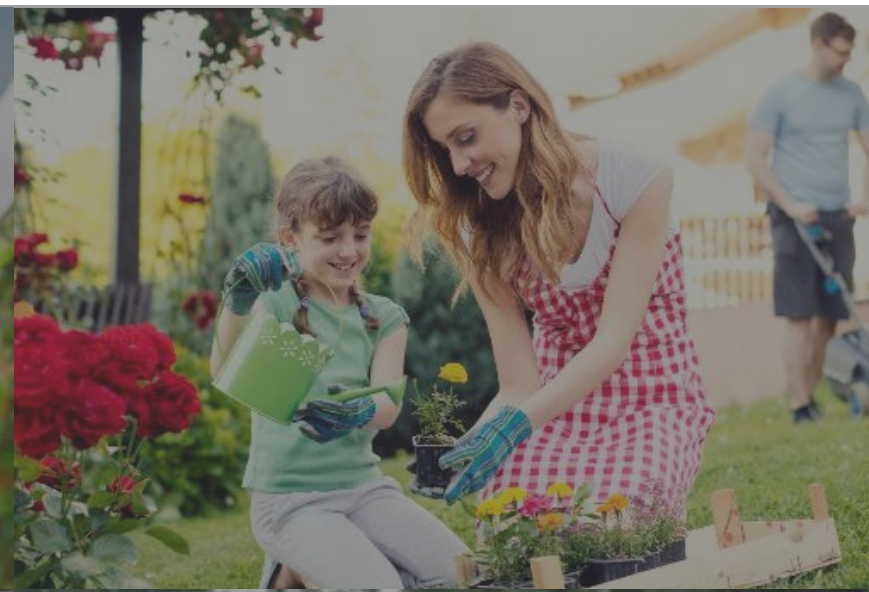


※設立10周年記念配当5円を含みます。

9月2日時点：株価（終値）4,390円 / 配当利回り 2.51% / PER 10.89倍



1. グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー
2. 主力の海外OPE事業は、米国での強固な事業基盤とプロに支持される製品力を武器に成長を継続
3. 欧州事業やロボット事業、一般産業用機械の拡大により、さらなる成長を目指す
4. 株主還元を重要な経営課題と位置付け、企業価値向上に取り組む



私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。